

令和6年度地域包括支援センター事業計画書

(甲府市西地域包括支援センター)

- 1 対象者 甲府西地区高齢者（特定高齢者・要支援者等）
- 2 職員
- | | |
|-------------|--------|
| センター長（実務代表） | 1名(兼務) |
| 主任介護支援専門員 | 2名 |
| 保健師 | 1名 |
| 社会福祉士 | 2名 |
| 介護支援専門員 | 1名 |
| | 合計7人 |
- 3 事業開始年月日 平成18年4月1日
- 4 事業方針
- 地域包括ケアを継続的に、又、一貫性を持って実施し、高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある、その人らしい生活を実現できるよう支援します。高齢者の総合相談及びニーズを把握し、地域の高齢者、サービス事業者、関係機関、民生委員、インフォーマルサービスなどの社会資源と連携し、
- ① 総合相談支援・権利擁護
 - ② 包括的・継続的ケアマネジメント支援
 - ③ 介護予防ケアマネジメント
- の活動を実施していきます。
- 5 地域展開のビジョン 「地域の特性や実情」を把握し、状況に合わせた活動を行います。
- 地域におけるネットワークの構築から、多くの意見を聞き取り、幅広い活動を行い、地域の抱える問題を地域と共に考え解決に取り組みます。

6 地域包括ケアシステムの取り組み

住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりのため、地域包括ケア体制の構築、介護予防の推進、健康づくりの推進、介護サービスの充実、介護保険事業の円滑な運営、地域福祉による快適な、町づくりを目指し、高齢者の自立を地域と共に支援します。

7 新年度の具体的な取組（令和5年度運営状況より）

イ、 健全な運営及び経営

- ① 市が定める運営方針に沿い事業を行います。
- ② 各種会議の参加及び開催を通し、顔の見える関係構築に努めます。
- ③ 地区分析に基づき、課題を把握し地域と共に問題解決を図ります。
- ④ 関係機関と連携し課題解決に取り組みます。
- ⑤ 認知症、虐待、権利擁護など見守りネットワークを構築し、課題の早期発見に努めます。
- ⑥ 元気アップを活用し適切な実態把握に努めます。
- ⑦ 接遇マナーを徹底していきます。
- ⑧ 適切な苦情処理及び対応を行っていきます。
- ⑨ 職員教育体制を構築していきます。
- ⑩ 地域及び関係機関から相談しやすいセンターを目指します。
- ⑪ 支出コントロールを意識し無駄のない経営を行います。
- ⑫ 離職防止及び定着に努め、職員定数の確保に努めます。
- ⑬ ハラスメント対策を講じ透明性の高い職場を目指します。

ロ、 感染症対策

- ・ 感染症に関する研修参加及び、職場内研修を定期的実施します。
- ・ 事業所内で想定訓練等を行い、事業継続の体制を構築します。
- ・ 備品の管理を徹底し、不測の事態に備えます。
- ・ 感染症流行期はセンター内での面談を控える等、感染予防に努めます。
- ・ 感染症蔓延期の利用者訪問は短時間、又は電話連絡等による確認に切り替えます。
- ・ 事業所内は換気、消毒等を徹底し感染予防に努めます。

ハ、 防災対策

- ・ 避難訓練及び防災訓練を定期的に行い、安全確保に努めます。
- ・ 地域災害時の課題があれば一緒に考え必要な連携を行います。

ニ、 職員管理

- ・ 有給取得、残業管理を徹底し働きやすい環境作りに努めます。
- ・ 職員教育、各種研修参加を行い資質の向上を図ります。
- ・ 定期的な個別面談を行い離職防止に努めます。

ホ、 業務改善

- ・ 管理職はセンター運営を担うため、業務バランスを図ります。
- ・ センター内会議で、利用者処遇の確認及び業務改善を図ります。
- ・ 各職員の担当件数、業務量を把握し、常に改善を行います。

へ、 各種委員会の参加（または共有）

- ・ 虐待防止委員会、感染症対策委員会、事故防止委員会に参加し、適切な運営に努めます。
- ・ 参加できない場合、内容の共有を図ります。

ト、 業務継続

- ・ 業務継続計画をもとに訓練及び計画の見直しを行い、業務遂行に支障が出ないように努めます。